



▲地域住民による歌や踊りが披露されたコミュニティ祭り

歌 中田でコミュニティ祭り や踊りで地域の連携感を

「第22回宝江コミュニティまつり（同運営協議会主催）」が9月9日、宝江ふれあいセンターで開催されました。オープニングは、地元で活動している「登米春嵐太鼓」による和太鼓の演奏。その後、9行政区の子どもからお年寄りまで大勢の人が参加して、歌や舞踊、ダンスなど28種目が披露されました。観客の中には「たくさんの歌や踊りが見られるこの祭りを毎年楽しみにしています。来年は出演してみたい」と話す人もいました。また、抽選会も行われ、景品が当たるたびに歓声が上がりました。

白 石越で隣接中学校野球大会 球を追いかけて熱戦を展開

第21回登米市石越隣接中学校野球大会が9月8、9日の2日間、石越総合運動公園で開催され、熱戦が繰り広げられました。大会には市内の中学校から7チーム、隣接の栗原市から3チームが参加。前日までの台風により天候が心配されましたが、当日は好天に恵まれ、球児たちは白球を一生懸命追いかけていました。なお、大会結果は次のとおりです。

【優勝】若柳中学校

【準優勝】築館中学校

【第3位】中田中学校、石越中学校



▲市域の枠を超えて熱戦が繰り広げられた野球大会

地 迫で女性のつどいを開催 地域の女性団体が合同で研修

第53回はさま女性のつどいが9月8日、迫公民館で開催され、迫地区の10団体から約120人が参加しました。このつどいは、各団体の交流と資質の向上を目的に毎年開催しているもので、今年は消費者トラブルと人付き合いに関する研修会を実施。「悪徳商法にご用心」（講師＝元消費生活相談員：及川悦子さん）と、「お付き合いの中で」（講師＝村田町歴史みらい館前館長：竹野晃平さん）を受講しました。実行委員会では、今後も各団体が連携してさまざまな活動に取り組みたいと話していました。



▲迫地区の各種女性団体が一堂に会して行われた研修会

全 津山に交通安全キャラバン隊 国をつなぐ交通安全の輪

交通安全を呼び掛けながら全国各地を回る、「交通安全キャラバン隊（全国交通安全母の会連合会主催）」が9月6日、登米市を訪れました。会場となった津山若者総合体育館では、登米市と気仙沼市、本吉町、南三陸町から、約150人の交通安全母の会会員がキャラバン隊を出迎え。セレモニーでは、キャラバンの隊長から、内閣府特命担当大臣のメッセージが伝達されました。市からは「登米からトメっぺし飲酒運転!!」と書かれた色紙をキャラバン隊長へ手渡し、交通安全を誓いました。



▲登米市をはじめ2市2町の交通安全母の会会員が集まった伝達式



▲総勢120人が掛け声を合わせ米川市街地を悠々と練り歩いた大名行列

総 東和で綱木之里大名行列 勢120人の一大歴史絵巻

東和地区に伝わる伝統行事の一つ、綱木之里大名行列が9月16日、米川市街地で行われました。八幡神社でおはらいを済ませた大名行列の一行は、ホラ貝と花火を合図に出発。袴姿の露払いを先頭に騎馬先陣、道中奉公、挟み箱や毛槍を持った奴、天狗と獅子、おみこし担ぎ、稚児行列と総勢120人の行列が市街地を練り歩きました。また、威勢よく毛槍を相手方に投げる「お取り替え」が行われると、沿道に駆け付けたカメラマンや見物客から大きな歓声が上がり、拍手が鳴り止みませんでした。

横 米山で第1回丸山杯少年相撲大会 綱生誕の地でたくましく

第1回丸山杯少年相撲大会（丸山顕彰会・ふる里センターY・Y主催）が9月16日、第3代横綱丸山権太左衛門の銅像が建てられている「道の駅米山」特設相撲場で行われました。米山町は丸山関生誕の地であり、その顕彰と相撲の普及・発展、さらには児童生徒の健全育成を願って開催。県内小中学校の児童生徒56人が出場しました。小学生は低・中・高学年ごと、中学校は総当たりでそれぞれ個人戦が行われました。また、高校生による模範演技やお祭り相撲3人抜きも披露され、観衆を沸かせていました。



▲女子児童生徒も参加し、たくましい取り組みが何番もみられました